

材質の違いから見る

トイレ（便器）

陶器

メリット

- ・表面が滑らか。
- ・親水性により汚れが付きにくく落としやすい。
- ・表面硬度が高く、傷がつきにくい。
- ・耐久性が高い。

デメリット

- ・水垢が付きやすい。
- ・樹脂製より衝撃に弱い。

耐用年数

ひび割れがなければ100年使い続けることもできる！
ただし、便器につながっているパイプやトイレタンク内の部品は消耗品ですので、一般的には10年～15年での交換を推奨。

お手入れ方法

トイレ用中性洗剤を使用し、トイレブラシやスポンジでこすり落とす。しつこい汚れには重曹やクエン酸なども効果的！

樹脂

メリット

- ・撥水性により、水垢や汚れが付きにくい。
- ・便器と便座の一体成型が可能。
- ・軽いため、搬送や施工がしやすい。

デメリット

- ・薬剤耐久性が低いため、強い洗剤は使えない。
- ・熱に弱い。
- ・年数が経過してくると変色する可能性あり。

耐用年数

ひび割れ・変色がさらにしにくいため陶器より耐用年数長くなっている！とされている。
ただし、便器につながっているパイプやトイレタンク内の部品は消耗品ですので、一般的には10年～15年での交換を推奨。

お手入れ方法

トイレ用中性洗剤を使用し、トイレブラシやスポンジでこすり落とす。研磨剤入り洗剤・ブラシは使用不可。

各メーカーの新素材特徴

TOTO セフィオンテクト

種類：陶器

陶器表面の凹凸を100万分の1mmのナノレベル※でツルツルにして、汚れの付着を抑制してくれます。
従来の陶器よりも表面の凹凸を抑えることで、汚れが引っかかる足場を無くして汚れが流れやすくなっています。



LIXIL アクアセラミック

種類：陶器

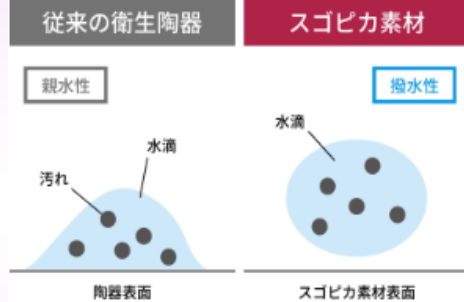
汚れの原因になる水アカは、陶器表面の成分と水に含まれる成分の化学反応で発生します。「アクアセラミック」は素材を見直すことで化学反応が起きにくく、水アカを防いでくれます。
さらに、親水性が高いので汚れの下に水が入り込み、こすらなくても表面の汚れが落ちやすくなっています。



Panasonic スゴピカ素材

種類：樹脂(有機ガラス系)

スゴピカ素材は水族館の水槽と同じ素材を使用しており、撥水性があり、ぬめりや黒ずみの原因となる水アカが付きにくくなっています。また、キズに強いのでブラシでお掃除できます。
また、加工しやすい素材のため、陶器ではできなかったスキマや段差をほとんどなくす「スキマレス設計」を実現。



各種SNSにて情報配信中

